



肝ぞう通信

2025年度 第6号 《ポリファーマシーについて》

お知らせ

肝疾患医療センターは、肝疾患に関する心配事や悩み事のご相談にお応えしています。
当院では、総合相談室が窓口になっております。

場所：病院1階
総合相談室

受付時間：（休診日は除く）
月～金：9:00～15:00
土（第1・3・5）：9:00～12:00

豆知識

しゃっくりには『柿のへた』が効果的であることが知られています。
柿のへたを含む漢方薬『柿蒂湯』も市販されており、しゃっくりの改善に使われています。



次月号

テーマ：PCBについて（予定）

発行責任者

東海大学医学部付属病院
肝疾患医療センター長
加川 建弘

ポリファーマシーとは？

多くの薬を服用し、薬の副作用を起こしたり、きちんと薬を飲めなくなったりしている状態のことを意味しています。

ポリファーマシーの問題点①

薬の排泄の変化

多くの薬は、肝臓の酵素の働きにより分解されます。その後、多くは腎臓に送られ尿と一緒に体外へ排泄されます。

多くの薬を服用していることで、副作用で、肝臓の機能が低下することがあり、薬が効きすぎてしまったり、逆に効果が弱くなることがあります。



ポリファーマシーの問題点②

薬の飲み合わせ

一つずつでは問題ない薬でも、薬と薬（市販薬も含む）、薬と食品（飲み物、健康食品、嗜好品含む）の組み合わせによって、薬の効き目が強くなってしまったり、逆に弱まってしまったりといったよくない影響が出る場合があります。

市販薬やサプリメント、健康食品を飲んでいる時も必ず医師や薬剤師に伝えてください。